

ライブ  
**LIVE**  
レポート  
**REPORT**

**SMBC日興** ~ニッポンの未来を豊かにする企業~  
**IRフォーラム2018winter**

セミナー会場



1911

住友林業

木と生きる幸福



住友林業



~「木」の可能性を追求し続ける住友林業の事業展開~

住友林業とは

- **原点は“銅山備林経営”**
  - ・1691年、住友家が別子銅山を開坑し、薪や木材の調達を担ったことがはじまり
  - ・長年にわたる伐採や銅の精練による煙害等によって荒廃した別子全山を1894年立案の「大造林計画」により、再生に成功
- **経営理念 ~ サステナビリティを強く意識**
  - ・住友林業グループは、公正、信用を重視し社会を利するという「住友の事業精神」に基づき、人と地球環境にやさしい「木」を活かし、人々の生活に関するあらゆるサービスを通じて、持続可能で豊かな社会の実現に貢献
- **8期連続増収・増益**
  - ・売上高1兆2,220億円、経常利益579億円で、8期連続増収・増益

グループの事業展開

- **国内戸建住宅事業**
  - ・高機能とデザイン性に優れた、ライフスタイルに合わせた理想の住まいを提案
- **リフォーム事業、木化事業**
  - ・「旧家」リフォーム：年間約300件
  - ・非住宅建築物の木造化・木質化を推進
- **海外住宅・不動産事業**
  - ・米国・豪州での年間販売規模は9,000戸超
  - ・クレセント社(米)を買収、複合商業施設、賃貸住宅の開発事業に参入
- **木材建材事業ほか**
  - ・木材建材事業は、取扱高国内ナンバーワン
  - ・バイオマス発電事業は、林業活性化にも貢献
  - ・介護事業は、木質感を活かした空間が特徴

特徴・強み

- **4つの事業セグメント(19/3期売上高ベース)**  
以下4つのセグメントで事業を推進
 

1.木材建材事業	： 36%
2.住宅・建築事業	： 34%
3.海外住宅・不動産事業	： 27%
4.その他	： 3%
- **海外住宅・不動産事業が経常利益約4割を稼ぐ**
  - ・アメリカ・オーストラリアを中心とする海外が好調
- **17/3期から19/3期(上期)までに累計約2,130億円の投資実施**
- **各種指標(18/3期)**
  - ・ROE10.3%(目標10%以上)
  - ・自己資本比率34.7%(中期目標40%以上)
  - ・D/Eレシオ0.7倍(目標0.5倍以下)

株主還元・ESGほか

- **継続的・安定的な配当を実施**
  - ・利益水準に応じて継続的かつ安定的に実施
- **サステナビリティ**
  - ・「住友の事業精神」には、ESG、CSR、SDGsに通ずる理念が込められている
  - ・社会貢献活動の一環として「まなびの森」での100年計画の森林再生を目指している
- **トピックス**
  - ・2041年の木造超高層建築物の実現に向けた研究技術開発構想「W350計画」に基づき、筑波研究所を核に新技術の探索等に取り組む
  - ・熊谷組との協業により、新市場創出・収益機会の拡大を目指す

本資料は、フォーラム開催日の2018年12月15日現在の情報に基づいて作成されており、その後の業績動向等を反映したものではないため、明示、黙示に関わらず内容の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。